



**2010年12月期  
第3四半期（1～9月）  
決算概要**

**2010年10月29日**

**株式会社 大塚商会**

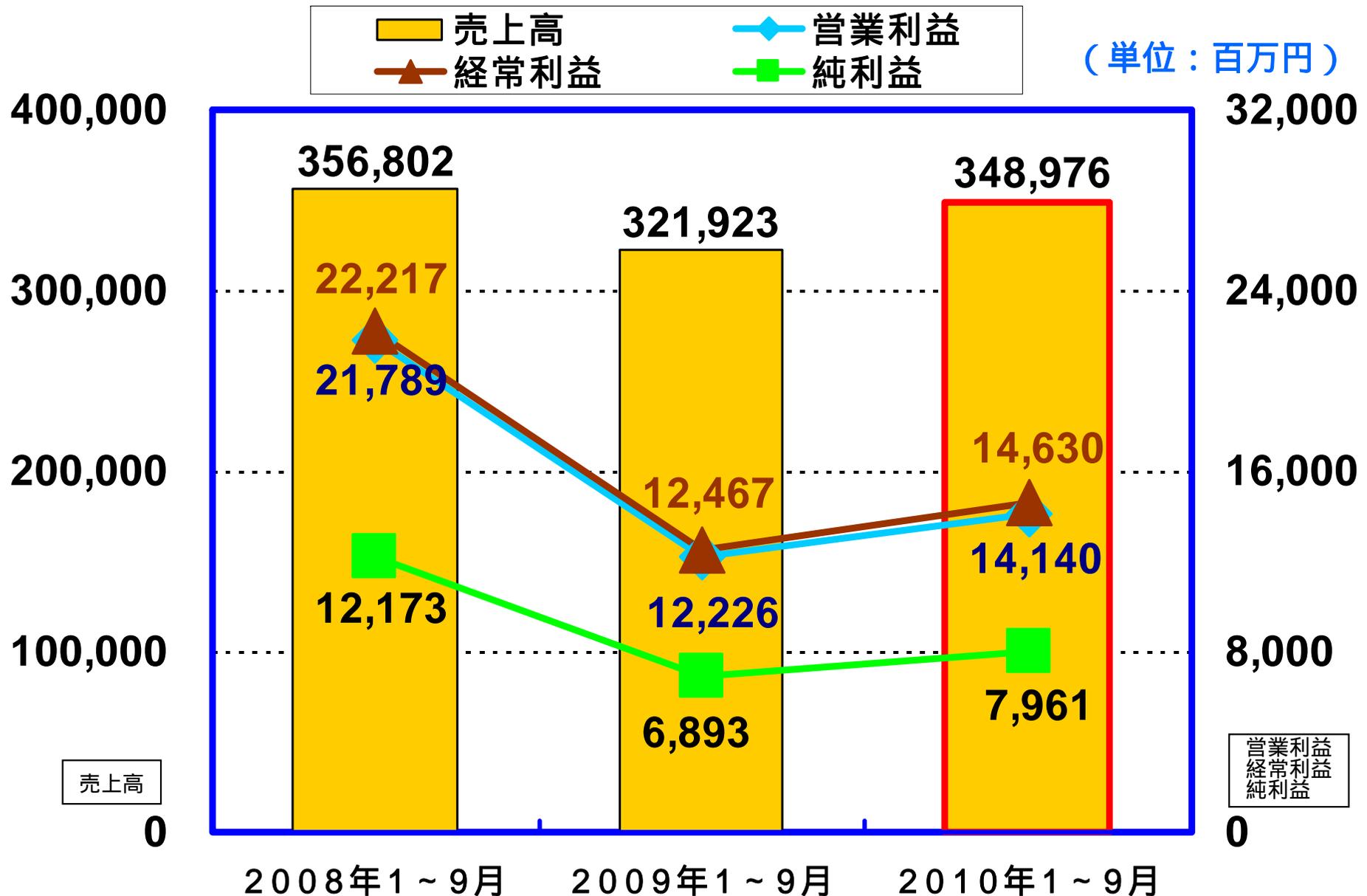
# 2010年1～9月 業績の概況

(単位：百万円)

	連 結		単 体	
	金 額	増減率	金 額	増減率
売 上 高	348,976	+8.4%	325,906	+8.1%
営 業 利 益	14,140	+15.7%	13,164	+19.3%
経 常 利 益	14,630	+17.3%	13,761	+18.9%
純 利 益	7,961	+15.5%	7,523	+13.8%

連結

# 売上高・利益の状況



# 外部環境

景気は緩やかに持ち直しつつあるが、先行き不透明

世界経済の回復に減速感

円高、株安、輸出・生産は弱含み

倒産数は減少も、減少ペースは鈍化

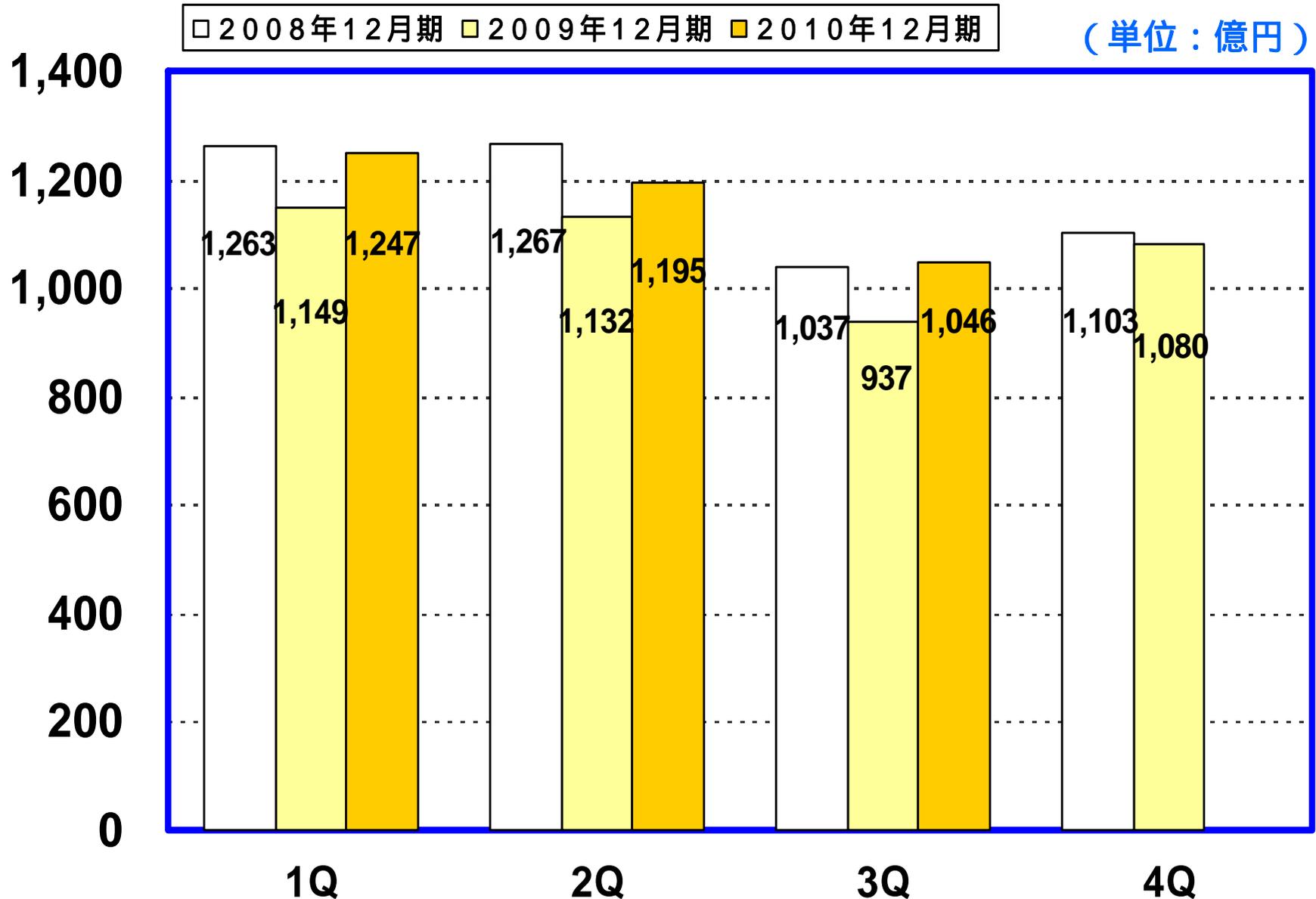
設備投資は緩やかに持ち直し

更新需要を中心に、IT投資は持ち直し傾向

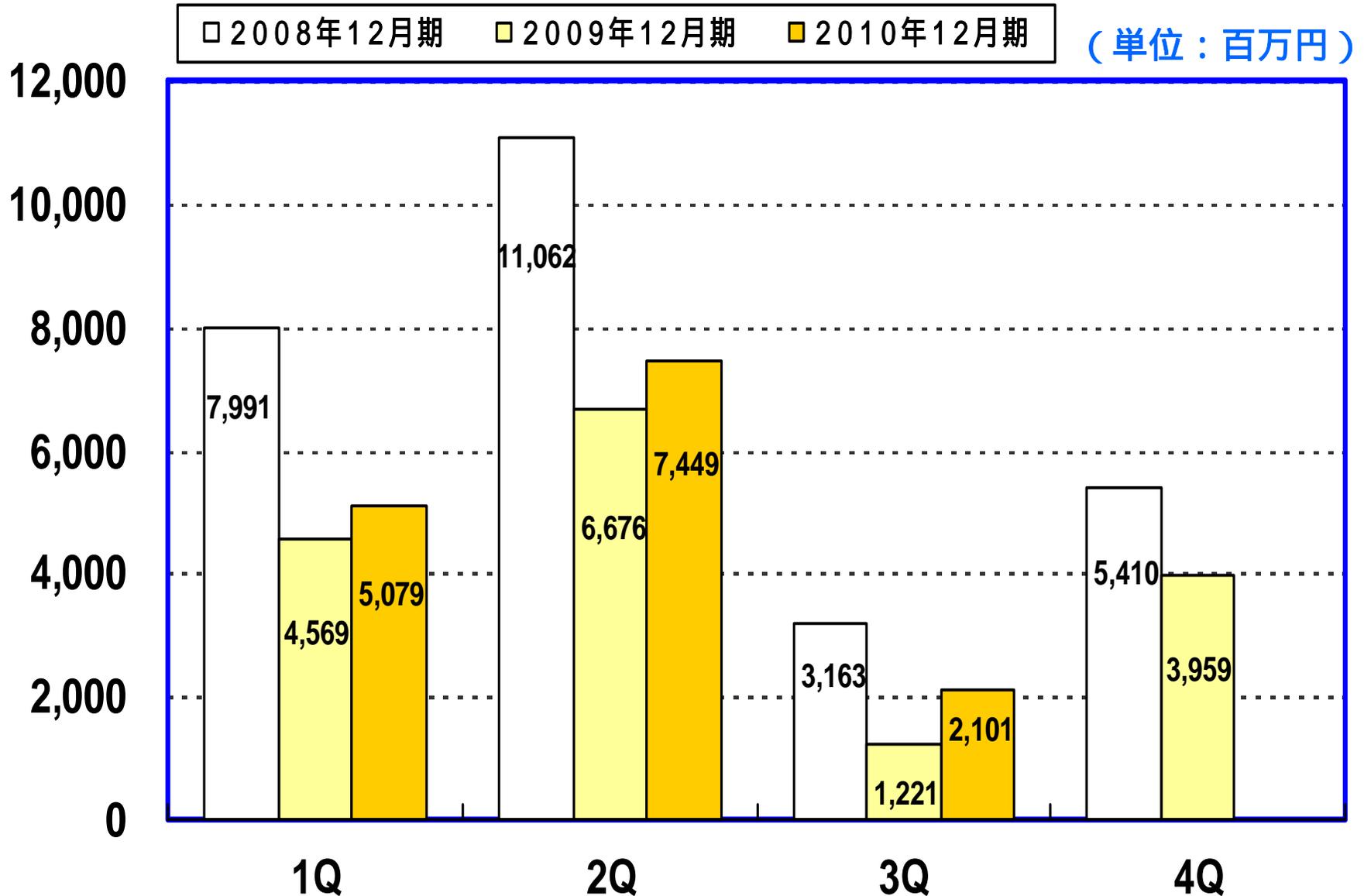
# 当社グループの取り組み

- コスト削減、生産性向上、競争力強化に繋がるシステム提案
- お客様接点の強化
- ストックビジネスキャンペーン
- 「たのめーる」への注力
- 新規ビジネスへの取り組み

# 売上高の四半期推移



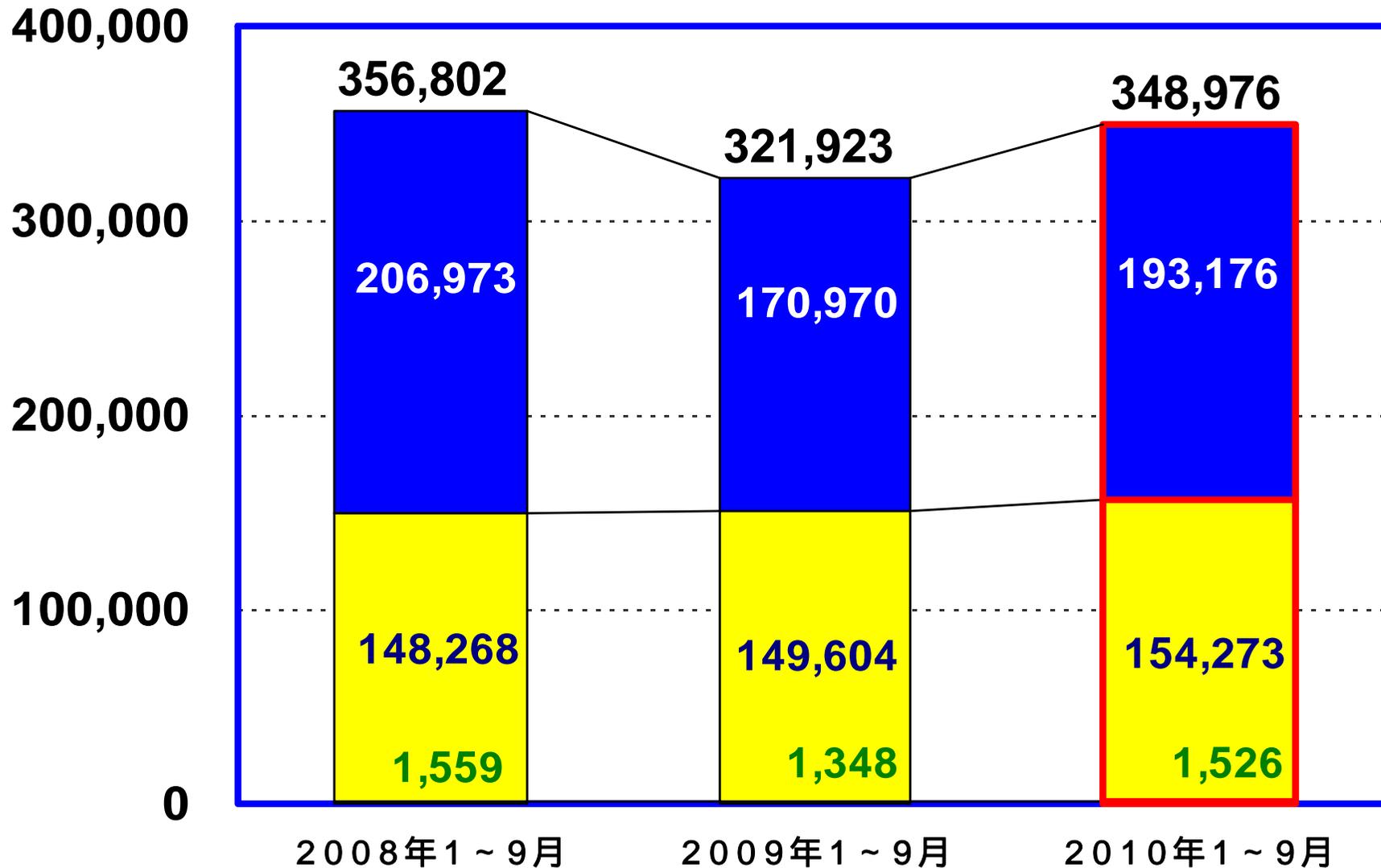
# 経常利益の四半期推移



# セグメント別売上高



(単位：百万円)

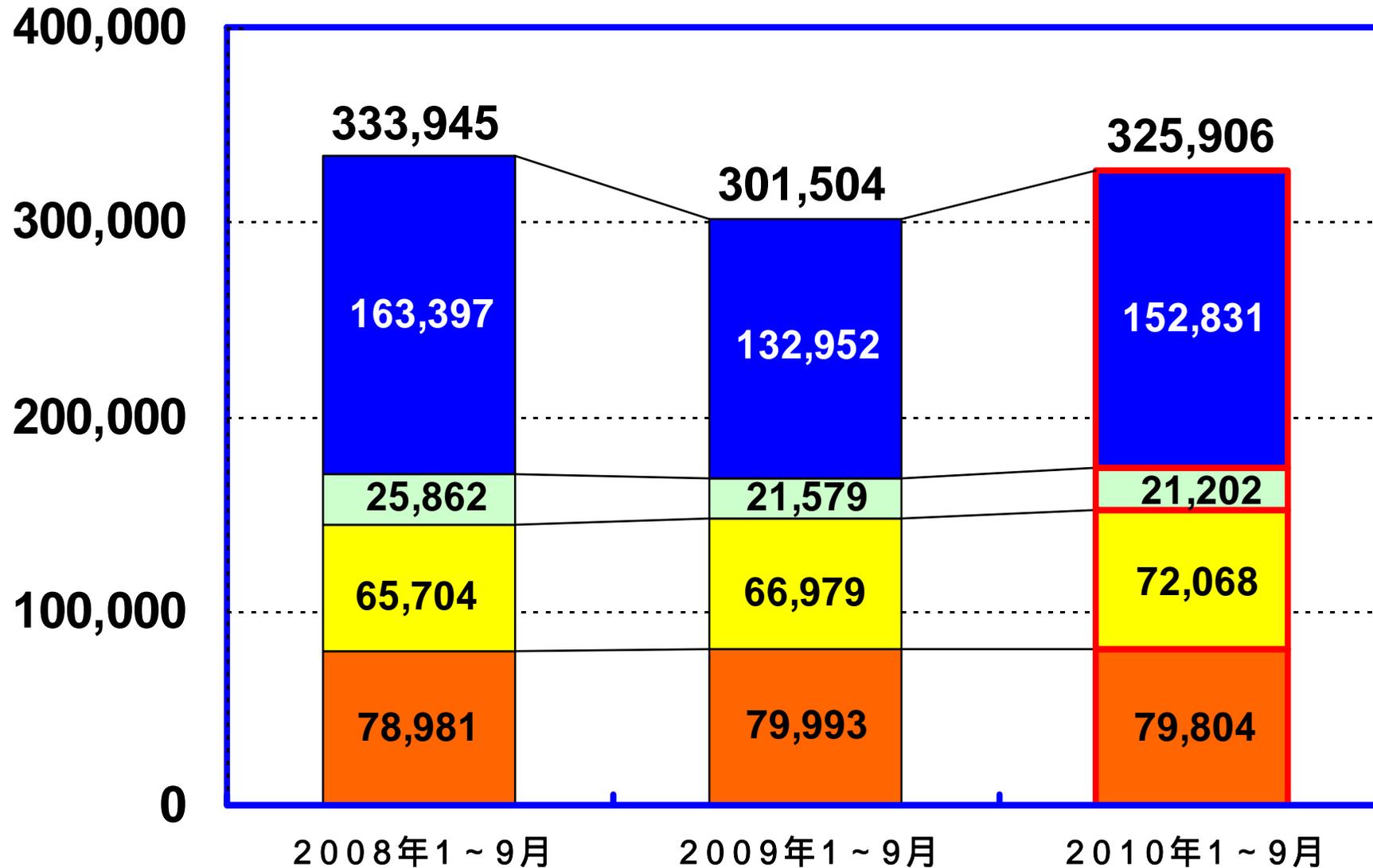


単体

# 詳細セグメント別売上高

■ S I 関連商品   ■ 受託ソフト等   ■ サプライ   ■ 保守等

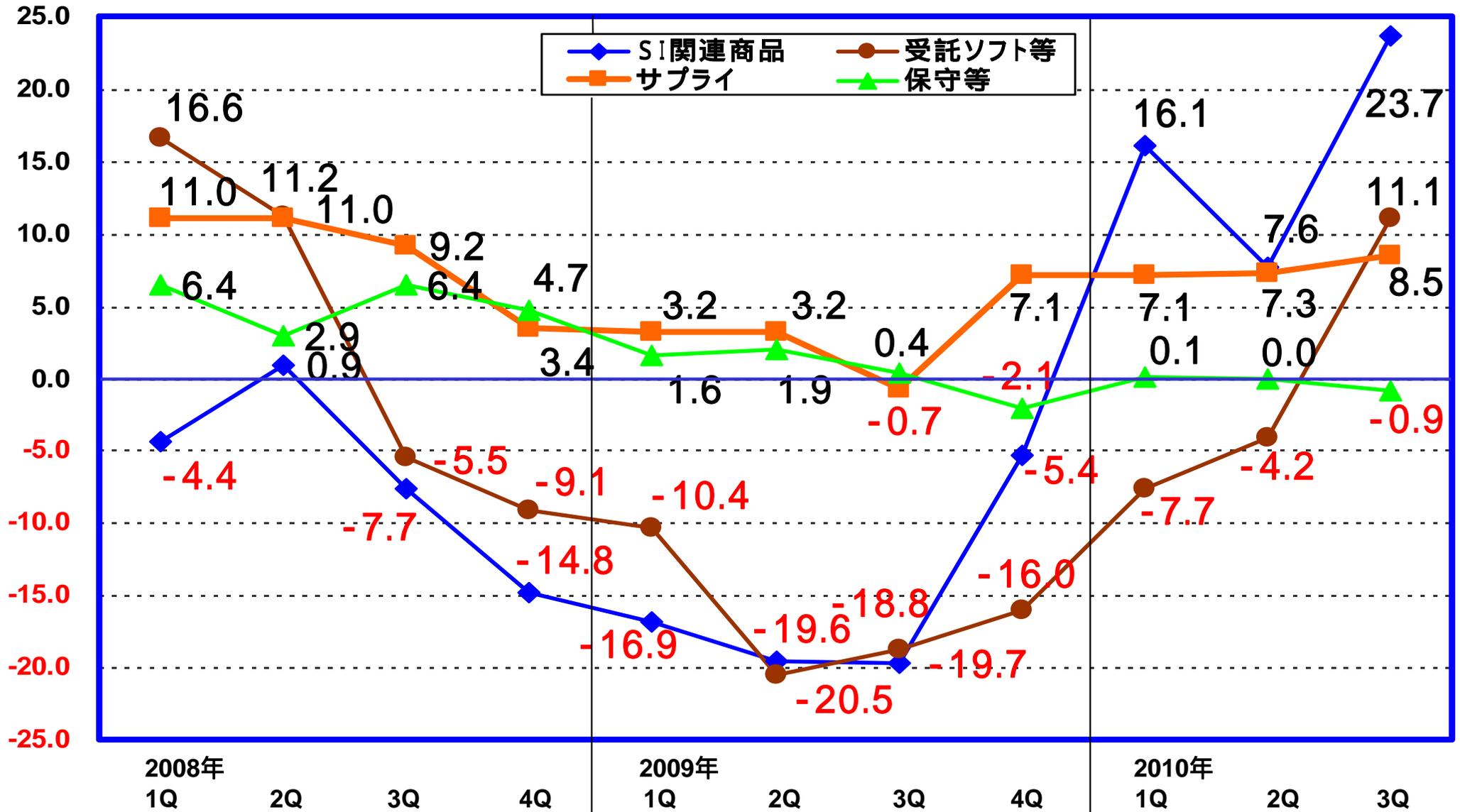
(単位：百万円)



単体

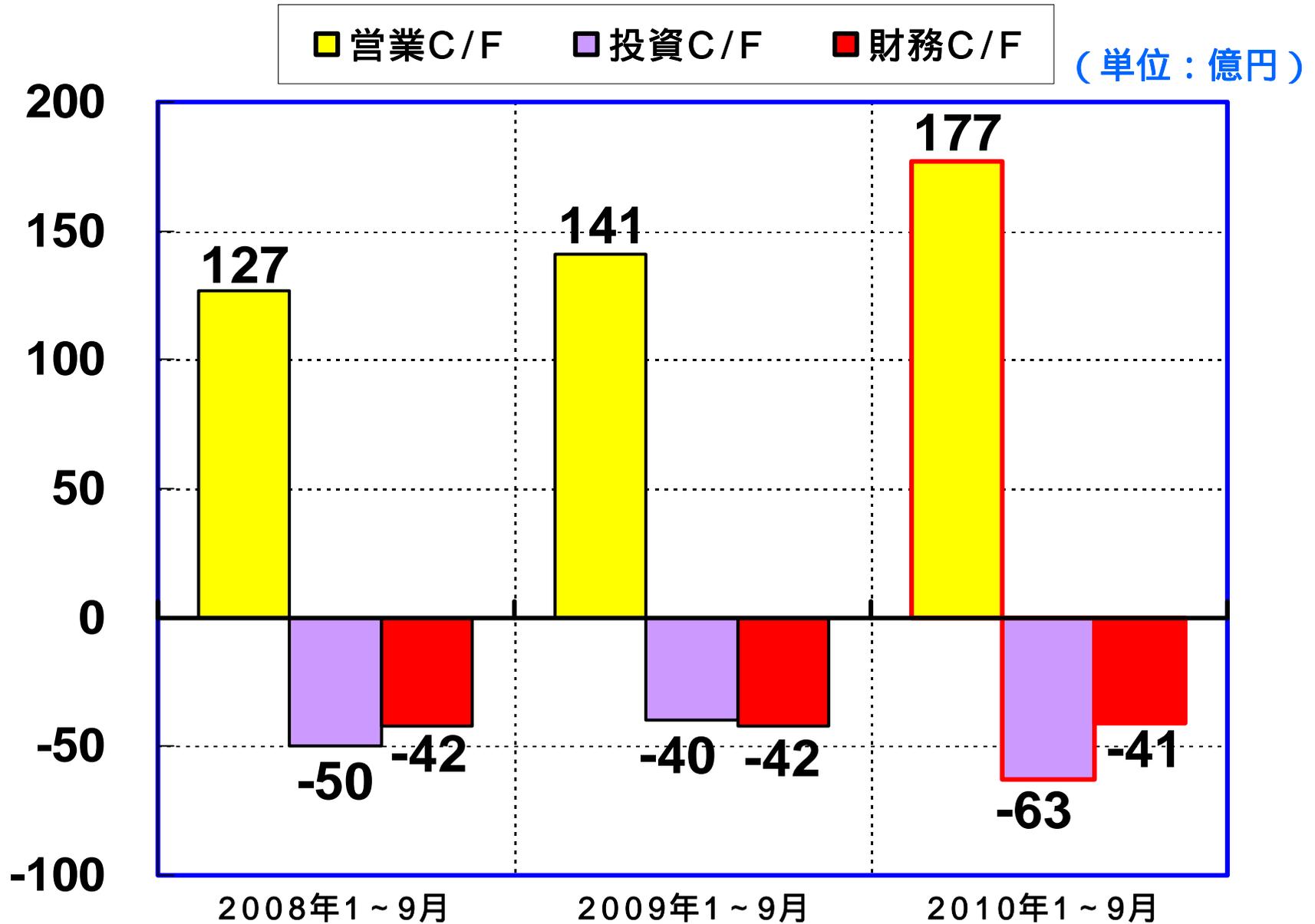
# 詳細セグメント別 売上高増減率の四半期推移

(単位：%)



連結

# キャッシュ・フロー

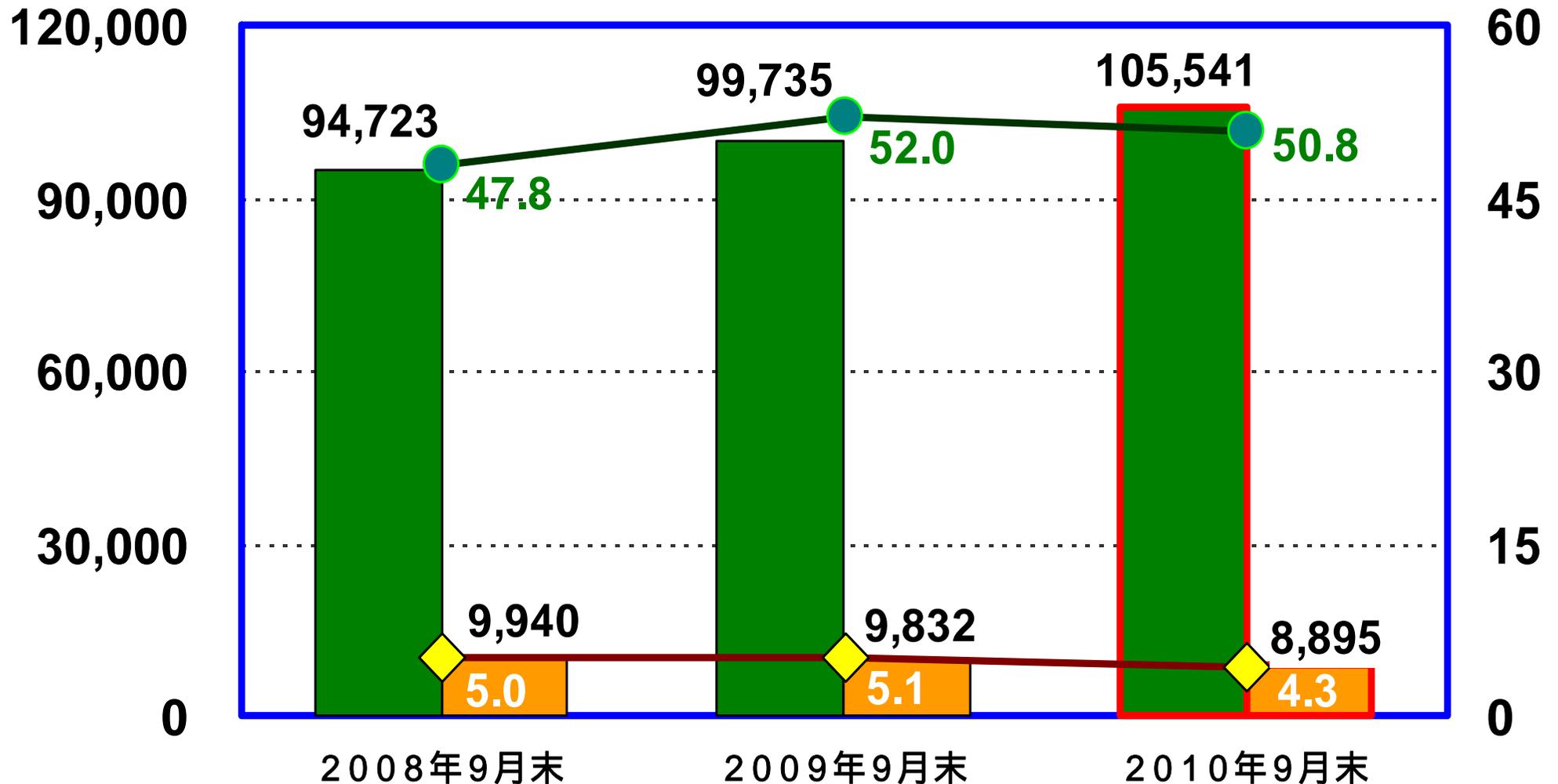


# 自己資本と有利子負債

(単位：百万円)

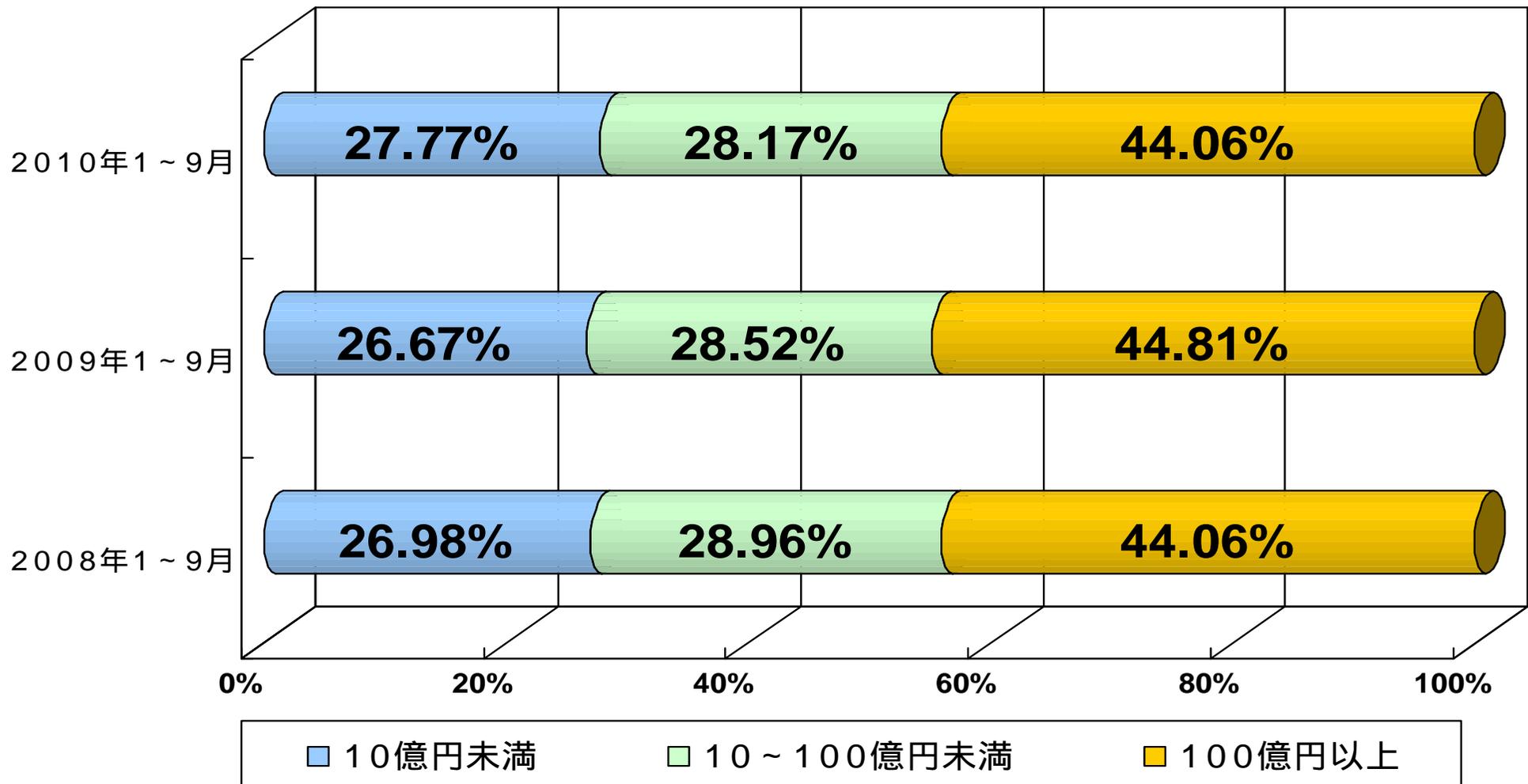


(単位：%)



単体

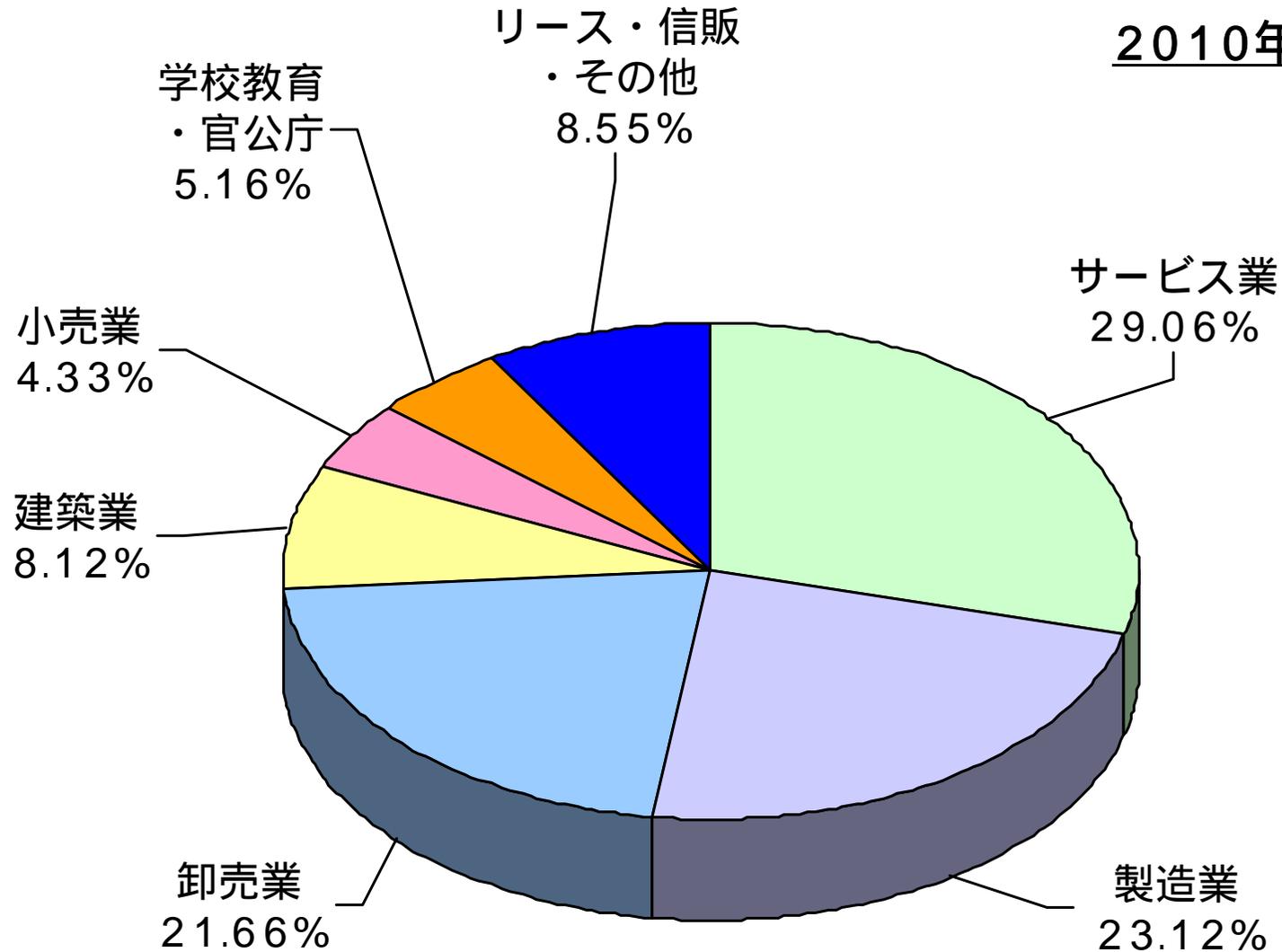
# 顧客企業の年商別売上構成



単体

# 顧客企業の業種別売上構成

2010年1～9月





# 重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2008年 1～9月	2009年 1～9月		2010年1～9月		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
たのめーる	66,287	67,849	+2.4%	<b>74,313</b>	<b>+6,464</b>	<b>+9.5%</b>
S M I L E	4,992	4,613	-7.6%	<b>5,046</b>	<b>+432</b>	<b>+9.4%</b>
O D S 2 1	28,211	24,543	-13.0%	<b>28,953</b>	<b>+4,410</b>	<b>+18.0%</b>
O S M	32,870	30,573	-7.0%	<b>33,422</b>	<b>+2,849</b>	<b>+9.3%</b>

< 参考：販売台数 >

(単位：台)

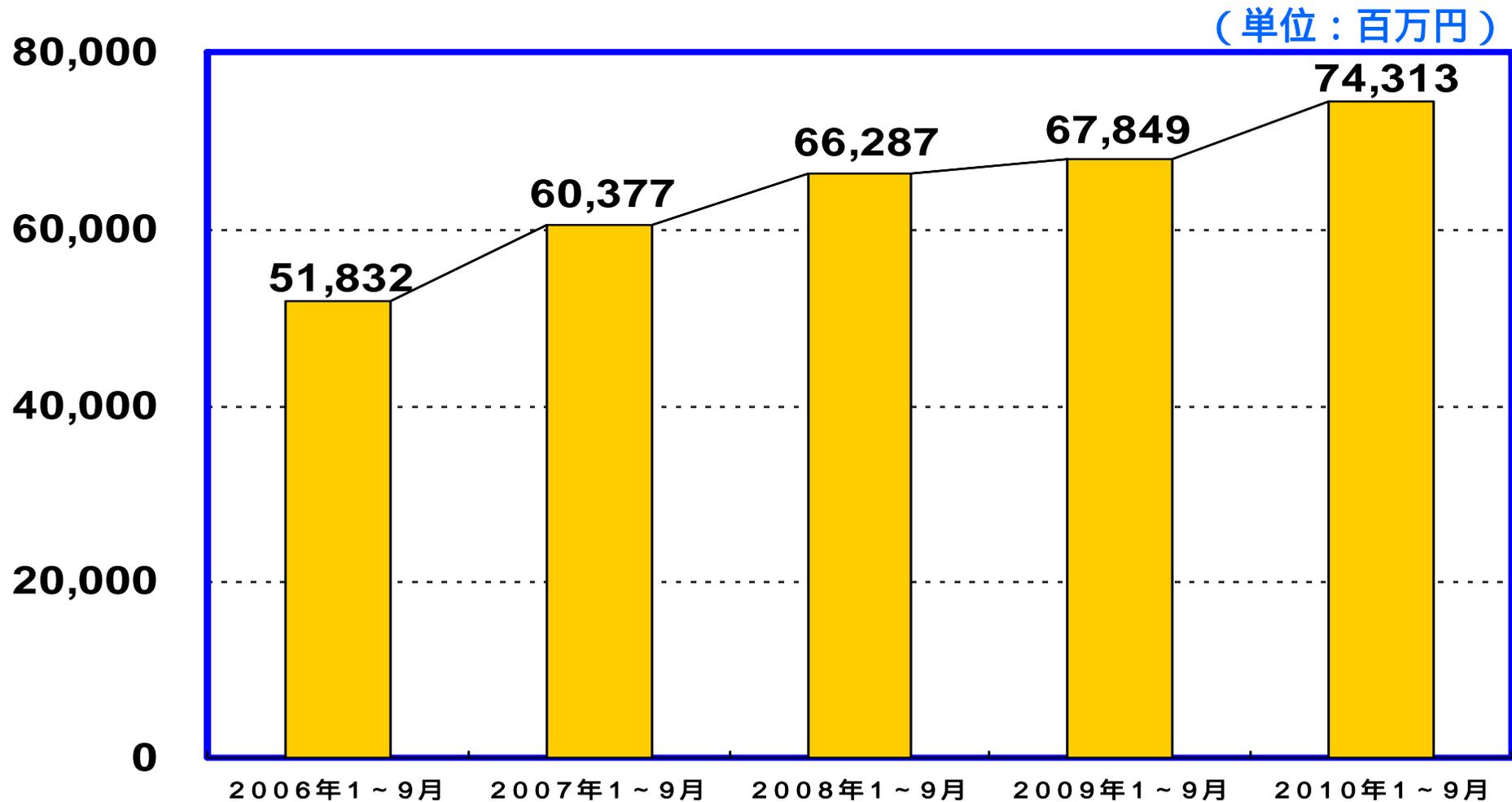
複写機	22,345	18,074	-19.1%	<b>20,186</b>	<b>+2,112</b>	<b>+11.7%</b>
(内カラー複写機)	15,349	13,356	-13.0%	<b>15,995</b>	<b>+2,639</b>	<b>+19.8%</b>
サーバ	25,423	23,673	-6.9%	<b>27,061</b>	<b>+3,388</b>	<b>+14.3%</b>
パソコン	389,326	373,692	-4.0%	<b>499,059</b>	<b>+125,367</b>	<b>+33.5%</b>

複写機およびカラー複写機は、2010年1～9月より集計範囲を一部変更しました。2008年、2009年分についても、変更後の数値で表示しています。

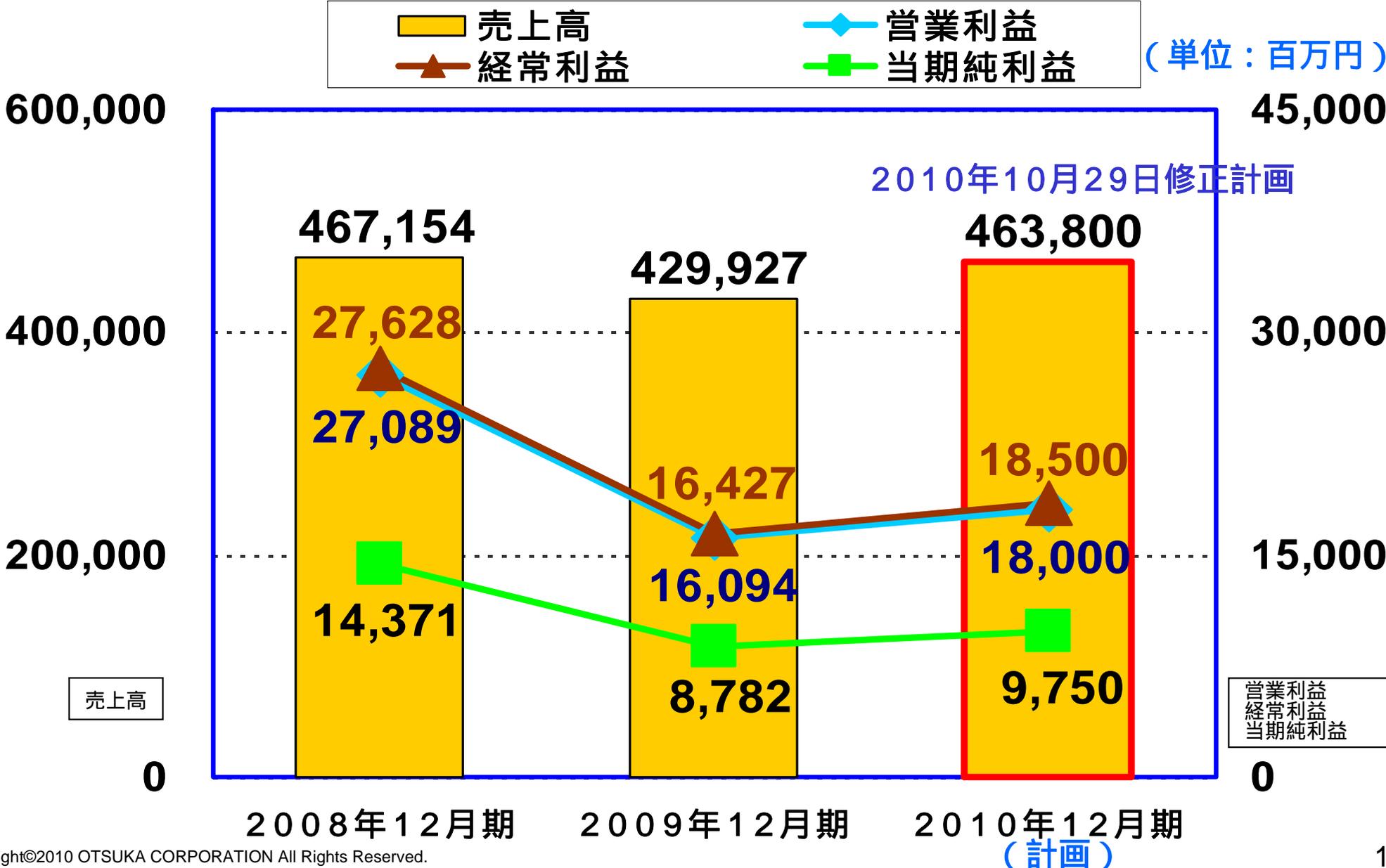
単体

# たのめーる売上高

通期で1,000億円にチャレンジ



# 売上高・利益の計画



社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様  
取 引 先 様

従 業 員

# 本資料についてのご注意

- 1 . 本資料は、2010年12月期第3四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。